

令和7年1月22日 第3回 事業運営検討会

日時 令和7年1月22日(水曜日)10:00~11:30
場所 一般財団法人 GovTech 東京 イベントスペース

出席者

【委員】

福田 巖 東京都デジタルサービス局 2030戦略担当部長
(こども DX 推進担当部長兼務)

土田 文紹 一般財団法人 GovTech 東京デジタル戦略本部 デジタル戦略本部長

保泉 正憲 板橋区子ども家庭部保育運営課長

青野 健 (代理出席)足立区子ども家庭部保育・入園課入園第三係 係長

米内山 桂 調布市子ども生活部保育課長

小池 義則 一般社団法人こども DX 推進協会 代表理事

小林 弘一 社会福祉法人東京都社会福祉協議会保育部会 常任委員

土橋 一智 一般社団法人東京都民間保育協会 副事務局長

諏訪 佳子 板橋区立かないくぼ保育園 園長

伊藤 直子 (代理出席)あやせ保育園 副園長

佐合井 純 調布市立富士見保育園 園長

豊島 美潮 (代理出席)こども家庭庁成育局保育政策課 専門官

【臨時委員(利用者・保護者)】

参加ユーザー代表 板橋区

参加ユーザー代表 足立区

参加ユーザー代表 調布市(資料のみ)

【オブザーバー】

飯嶋 威夫 内閣官房デジタル行財政改革会議事務局 参事官

【関係事業者】

デロイトトーマツコンサルティング合同会社

BABY JOB 株式会社

株式会社コドモン

千株式会社

ユニファ株式会社

日本ソフト開発株式会社

【事務局】

竹内 智美 東京都デジタルサービス局デジタル戦略部デジタル戦略課

こども DX 推進担当課長 以下、担当

亀割 岳彦 一般財団法人 GovTech 東京デジタル戦略本部 本部長補佐 以下、担当

次第1. 開会・出席者紹介

○ 竹内 こども DX 推進担当課長 委員の皆様は画面をオンにさせていただいて、それ以外の随分の方は画面オフをお願いいたします。また、発言時以外はマイクをミュートにさせていただきますようお願いいたします。本日事務局からの説明後に質疑と意見交換の時間を設けております。オンラインでご参加の委員皆様ご発言の際には挙手ボタンを押していただくようお願いいたします。司会の方より順に指名させていただきます。なお本会議は録画し、後日関係者のみに、事情確認のために限定配信いたしますのであらかじめご了承ください。それではこれより次第に沿って進めさせていただきます。委員の皆様お揃いのようなので、第3回事業運営検討会を開催いたします。これよりご覧の次第に沿って進めさせていただきます。本日もご出席いただいている委員およびオブザーバーの皆様、関係者の皆様をご紹介させていただきます。出席者の一覧に沿ってご紹介させていただきます。

東京都デジタルサービス局 2030戦略担当部長(こども DX 推進担当部長兼務)福田 徹委員でございます。

一般財団法人 GovTech 東京デジタル戦略本部 デジタル戦略本部長 土田 文紹委員でございます。

板橋区子ども家庭部保育運営課長 保泉 正憲委員でございます。

足立区子ども家庭部保育・入園課長 柳瀬 晴夫委員の代理で、同課入園第三係 係長の青野 健様でございます。

調布市子ども生活部保育課長 米内山 桂委員でございます。

一般社団法人こども DX 推進協会 代表理事 小池 義則委員でございます。

社会福祉法人東京都社会福祉協議会保育部会 常任委員 小林 弘一委員でございます。

一般社団法人東京都民間保育協会 副事務局長 土橋 一智委員でございます。

板橋区立かないくぼ保育園 園長 諏訪 佳子委員でございます。

足立区立伊興保育園 園長 沢井 範子委員の代理で、区立あやせ保育園副園長の伊藤 直子様でございます。

調布市立富士見保育園 園長 佐合井 純委員でございます。

こども家庭庁成育局保育政策課長 栗原 正明委員の代理で、同課専門官 豊島 美潮様でございます。

続きまして、今回は連携自治体の保護者の方に、参加ユーザー代表として板橋区、足立区からそれぞれ出席いただいております。調布市の委員は、本日、都合によりご欠席ですが、資料

を提出いただいておりますので私の方から発表させていただきます。

続きまして、オブザーバー参加いただいております、内閣官房デジタル行財政改革会議事務局参事官 飯嶋 威夫様でございます。

次に、関係の事業者様をご紹介いたします。恐れ入りますが、私から、社名のみご紹介させていただきます、役職・お名前につきましては、出席者一覧をもって代えさせていただきます。

まず、保活情報連携基盤の構築事業者としてデロイトトーマツコンサルティング合同会社様。民間保活システム事業者として、BABY JOB 株式会社様、株式会社コドモン様。保育 ICT システム事業者として、千株式会社様、ユニファ株式会社様、日本ソフト開発株式会社様、民間保活システム事業者と兼任になります、株式会社コドモン様にご参加いただいております。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

次第2. 保活ワンストップシステムの運用状況等(東京都)

○ 竹内 こども DX 推進担当課長 続きまして、次第の2「保活ワンストップシステムの運用状況等」に移りたいと思います。10月31日のサービス開始からこれまでの運用状況等につきまして、データもお示しつつ利用の推移や傾向等について、東京都事務局よりご説明をしていきたいと思います。

まず、システムを円滑に運用し、保護者ユーザーの方にも快適に利用いただくために、基本的なルールを決め、各保育施設や自治体に運用していただきました。施設情報の変更に関しては、保育施設においては、変更が必要になった場合には速やかに新しい情報を入力した上で、自治体に施設情報変更依頼を行っていただくこと、また自治体においては、保育施設からの依頼が届いたら速やかに確認し、承認または却下を行っていただくようにしていました。また、自治体が毎月、月次の空き枠情報を登録するにあたっては、自治体での公表後速やかに基盤にインポートいただくこととしました。続きまして見学予約に関しては、保育施設においては、朝夕の1日2回程度の頻度で、予約が入っていないか確認を行っていただきました。また、現在の仕様上、直前に予約が入る可能性もありますため、保育施設の方であらかじめ設定された見学予約可能日(枠のある日)の前日は、必ず確認をお願いしております。3つ目のポチですが、保護者から入った予約申請を園で承認し、見学予約が確定した後、何らかの事情により、保育施設の都合でキャンセルする場合は、保護者の方へ電話やメールでの事前連絡を行うこととしています。4つ目のポチですが、電話等で見学予約のお問い合わせを受けた場合は、できるだけシステムで予約を入れていただくようご案内していただきました。やむを得ずシステム外で予約を受けた場合には、予約枠が1つ埋まるということになりますので、システムへ入力いただきました。これにより、保育施設の KPI 指標である「オンライン予約申請率」の把握にもつながるため、お手数かもしれませんが入力をお願いしております。5点目ですけれども、毎月10日までに、3か月先の月末の予約枠まで登録していただきました。自治体においては、システムの運用が定着するまでの間の保育施設へのサポートという意味で、見学予約申請が入ってか

らしばらく審査が滞っている施設があれば確認を入れていただくことや、予約枠の作成登録状況を確認いただくことをお願いしました。

続いて、運用状況についてです。まず、10月31日のサービス開始から1月17日までのユーザー利用数ですが、こちらは、アカウント登録をして、ログインした保護者ユーザーを重複なくカウントした数で、ユニークユーザー数と考えていただければと思います。10月31日から11月30日までが136人、12月が26人、1月1日から1月17日までが18人で、累計すると180人となりました。続いて、見学予約申請件数が下の表になります。10月31日から11月30日までが210件、12月が43件、1月1日から1月17日までが25件で、累計278件となりました。下の棒グラフは2か月半の予約件数の推移です。やはり、4月入園に向けた保活ピーク期の終盤にあたる11月の見学予約申請件数が最も多い結果となりました。その後、各自治体において4月入園の申込が締め切られた後から、ぐっと件数が減っております。これは想定どおりの推移と捉えており、第1回事業運営検討会でも共有させていただきましたが、参加保育施設を対象に園見学の繁忙期を予め聞いたところ、8月から11月が最も繁忙とのことでしたので、オンライン予約に限らず、時期的に見学予約自体が減少しているため、ご覧のような推移になっていると思われる。

続きまして、見学予約申請を受けた時間帯と曜日の分布についてです。データの対象は11月から12月に申請された見学予約の件数であります。まず、左側の受付時間別の棒グラフですが、日中の9時台から15時台に申請が多くなっています。赤枠で囲んでいる部分になります。また、夜間帯を通じて一定の申請数があります。特に20時台から21時台の緑の枠で囲んだ部分に、もうひとつの山があることがわかります。これについて、分析のために、後程ご紹介する11月に都が実施した効果測定アンケートの中で、保活中の保護者の方に、保活する時間帯について質問したところ、まず日中の9時台から15時台は、育児休業中の保護者の方が家庭で家事育児をしている間で、お子さんが1日数回のお昼寝をするタイミングなどを見はからって予約を行っていることがわかりました。また、夜20時台から21時台については、お子さんが寝て、1日の育児が終わった直後のタイミングで、保育園を探して予約する方が多いようでした。続いて、右側のグラフに移りまして、今度は見学予約申請の曜日別分布を見ますと、休日に申請が入ってきています。これはシステム化の効果と言えるポイントかと思えます。休日より平日の方が件数は多い傾向にあります。水曜がちょっと少ないですが、理由についてはまだわかっておりません。まとめますと、システム化したことにより、平日昼間の隙間時間の活用がより一層進んだということと、これまで受付時間外であった夜間帯や休日の申請が可能になるなど、保護者の利便性が向上した、というふうに捉えております。

続きまして、見学予約の審査時間の分布でございます。保育施設が見学予約の審査にどの程度の時間で対応したかを指します。仮予約が入ってから内容を確認し、承認または見送りの返事を出し、予約が確定するまでの時間です。保護者にとっての利便性に直結するポイントかと思えます。予約の審査時間は、平均で6.8時間となりました。約65%の予約が3時間以内

に審査されてきました。また、96%の予約が、営業時間 24 時間以内に審査完了しております。基本的な運用ルールをあらかじめ決めていたということもあり、保育施設で適切に運用いただいたため、保護者の利便性としては合格点だったのではないかと評価しています。

次に、下段の申請から見学日までの期間の分布データについてご説明いたします。保護者が、何日先の見学予約を申し込んでいるかを見ています。今回は、3か月先までの見学予約枠の登録が可能となっておりますが、実際は、71%の予約が、申請から2週間以内の見学希望日を申請していました。また、1週間以内の見学希望日を申請していたのは全体の 49%を占めていました。30 日以上先の予約申請は8%となりました。このことから、3か月先までの予約枠登録という基本ルールの妥当性を考えますと、3か月先までなら十分、2か月先までの登録でも、保護者の利便性としては問題ないと言えるかと思います。保育施設の声を聴くと、3か月先ではまだ予定が立っておらず、枠の登録が難しいケースもありそうですので、来年度の運用の中ではこの実績データも踏まえ、保護者と保育施設双方にとって、より運用のしやすいルールにしていけたらと考えております。

続きまして、今回構築した保活情報連携基盤を活かして、現在構築を進めております「東京都保活ワンストップポータルサイト」をご紹介します。こちらのサイトは、本プロジェクトを、より多くの保護者の方に周知・広報し、サービスをより多くの都民に利用していただくために構築するもので、令和7年度内の公開を目指しております。具体的なコンテンツとしては、①保護者、自治体、保育施設などに向けたプロジェクト概要や自治体の参加状況等の掲載、②基盤に集約した情報を活用した、施設情報や手続情報の検索機能です。連携自治体の、参加保育施設以外の保育施設の情報も掲載し、検索できるようにしていきます。また、参加保育施設については、このサイトから見学予約も可能となります。保育施設や自治体職員の方に登録いただいた情報を、様々なユーザーインターフェースから都民にご利用いただきたいと思っております。

「運用状況等」についての説明は以上です。ここまでの内容につきまして、ご質問等ある方がいらっしゃれば、挙手にてお知らせ頂きたいと思っております。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

次第3. 保護者対象の効果測定結果について(東京都)

○ 竹内 こども DX 推進担当課長 それでは、次第の3「保護者対象の効果測定結果について」に移りたいと思っております。

まず、効果測定の結果を共有させていただきます。今回、TYPES として保護者ユーザーを対象に実施した効果測定は、大きくは2つあり、1つは参加自治体の保育所管課窓口に来年度の保育園入所申請のために来所した方を対象とした調査となります。約 90 人の方に調査を行いました。もう1つは、モニター参加者 150 人を確保して行った調査がございます。モニターは、小学3年生以下のお子さんがある、保活経験のある方、又は現在保活中の方を確保して行いまし

た。この2つを合わせて約240人分の効果測定を実施しまして、そのほかに、民間保活サイト経由でリアルなユーザーにアンケートをとることも現在行っています。本日共有させていただくのは、集計が終了している自治体窓口来所者分の調査結果になります。モニター参加者分や民間保活サイト経由で行っている調査結果は、現在集計中でございますので、これらを合計した結果につきましては次回の検討会にて提示させていただく予定です。なお、精度としては、モニターよりも今回ご報告する自治体窓口調査の方が、すべての対象者が今年度保活を行っている方になりますので、より高いと言えるものになっています。

前置きが長くなりましたが、行った調査のご説明をさせていただきます。概要としましては、板橋区・足立区の保育所管課窓口付近に特設コーナーを設けまして、事務局の用意したスマホで、「えんさがそっ♪」、「ホイシル」のいずれかの民間保活サイトから、保活ワンストップサービスを体験いただきました。具体的には、保活ワンストップ参加園の施設情報収集、手続情報の収集、見学予約、民間保活サイトから自治体の入所申請ページへの移行を体験いただきました。その後、対面により調査員が聞き取る形で、満足度や所要時間についてアンケートにお答えいただきました。実施期間は、板橋区が11月6、7、8日の3日間、足立区が11月26、27、28日の3日間、いずれも、来年度4月入園の1次申込期間中、申込書提出などのために来所した区民の方にお声がけして測定しています。合計サンプル数は93人となりました。

結果ですが、主なKPI指数についてまとめますと、まず1つ目、保活ワンストップサービスを利用した場合の保活体験全体に対する満足度が70%以上、という目標に対して、結果は96%ということで達成できました。満足度のパーセンテージの算出方法ですが、5段階評価で5が大変満足、4が満足、3がふつう、2がやや不満、1が不満として、3のふつう以上と回答した方の割合を算出しています。つまり、全体のうち、96%の方が、ふつう以上と評価したということになっております。2つ目、保活ワンストップサービスを利用した場合の保活の情報収集、見学予約の所要時間が4時間以下、という目標に対して、結果は、4時間以下の方が73%ということで、こちら7割以上という数字から、事務局としましては、目標達成したと評価したいと思っております。なお、4時間以下とした考え方ですが、前回の事業運営検討会でもご説明させていただきましたが、国のTYPES事務局がベースラインとして置いていた数字を半減させる、ということで設定しております。この保活の所要時間につきましては、次のページに図示しておりますのでご覧ください。

保活の所要時間の考え方につきまして、一般社団法人こどもDX推進協会様の調査を参考としています。国のTYPES事務局もこの数字をベースに目標値を設定されたと同っております。上段部分が、調査によって整理された、入所申請提出までの保活のフローと、平均的な所要時間になっています。まず、役所相談に約10時間、情報収集に約7時間、見学予約に約1時間、続いて施設見学に5時間、希望施設の決定に約3時間、申請書類の作成に約5時間かかっているということで、すべて足し上げると、うすい水色の矢印部分のとおり約31時間となっています。このうち、今年度、東京都の保活ワンストップサービスでスコープとした部分が、主に赤枠で囲んだ「情報収集」と「見学予約」のところになりますので、この考え方に基づくと、ベ

ーラインは約8時間になっています。KPIの目標値としては、この約8時間を半減できれば、効果があったと言ってよいただろうということで、この部分を約4時間以下にすると設定いたしました。具体的に行った測定方法としては、保護者の方に保活ワンストップサービスを体験いただいた上で、1保育施設あたりの情報収集にかかる所要時間と、1保育施設あたりの見学予約にかかる所要時間を聴き、その人が今回の保活で実際に情報収集した保育園の数、見学予約した保育園の数をそれぞれに乗じて、さらに手続情報を収集する所要時間も加えて算出したところ、4時間以下となった方が約73%という結果となっております。また、スコープ外の部分も含む全体の時間につきましても、補助的なKPI指標という位置づけで調査を行いまして、約31時間の半分の15時間以下でできる、とご回答いただいた方が、全体の86%となりました。考えられることとしては、情報収集が充実することで役所相談が不要又は所要時間を短縮でき、希望施設決定や申請書作成に要する時間を短縮できた可能性が考えられるかと思っております。

各KPI指標に対する効果測定結果についてまとめたものでございます。これまでの説明と重複する項目もありますが、はじめに、満足度に関する指標からご紹介いたします。工程ごとの満足度のうち保活情報収集について、目標70%のところ結果98%でした。設問としてはQ1、保活ワンストップサービスで保活情報を収集してみた満足度を教えてください、この結果を持ってきています。関連した質問として、Q2で、あなたの欲しかった保活情報は得られたと思いますか、満足度95%、Q3で、複数園の必要な保活情報をまとめて得ることができたと思いますか、については96%という結果になりました。次に施設見学予約の満足度、目標70%以上に対して、結果は98%ということで、質問としてはQ4見学予約をしてみた満足度を教えてください、の結果をもってきております。関連した設問で、Q5で見学予約は、電話予約よりも効率が良いと思いますか、について96%、Q6で、見学予約は、見学日時の検討や、園に伝えておきたいことなどの連絡がしやすいと思いますか、について97%の方が満足、という結果になりました。Q7で、見学予約は、操作がわかりやすいと思いますか、については満足度100%となりました。続いて、入所申請に関する満足度のKPI、目標70%以上に対して、Q8、保活ワンストップサービスからの入所申請ページへの移行は、入園申込ページを検索してアクセスするよりも円滑だと思いませんか、94%という結果になりました。次に、各工程が同一サイト上ワンストップでできることの満足度についてですが、目標70%以上に対して、Q9では98%となりました。満足度の最後ですが、Q10で、保活全体に対する満足度については、目標70%のところ、96%となっております。続きまして、所要時間については、先ほどもご説明したところですが、工程ごとの所要時間の合計が目標15時間以下で、結果は15時間以下の方が86%。また、今回のスコープに限定した工程の所要時間合計が4時間以下という目標について、結果は4時間以下が73%となりました。

スライドの16~18枚目については、結果の詳細を掲載しておりますので、後ほど参考にご覧いただければと思います。Q1からQ3の、保活ワンストップサービスを活用した保活情報収集ですが、4と5の評価の割合が高いのはQ3の複数園の情報をまとめて得ることができた

思うか、という項目でした。Q4から Q7の、保活ワンストップサービスを活用した見学予約関連の質問については、いずれにおいても4または5と回答した方の割合が高く、特に Q5の、電話と比較した効率性や、Q7の操作のわかりやすさという点で、高い評価となりました。Q8・9・10についても、4または5の評価割合が高い結果となっております。

最後に、先ほど詳しくご説明した所要時間についてですが、ご覧のような内訳となっております。保活の所要時間については、かなり個人差が大きいところがございます。例えば情報収集については、時間をかけられるだけかけたい、という方もいらっしゃいますし、可能な限り多くの園を見て調べたいという方もいらっしゃいますので、15 時間以下、4時間以下に収まらない方については、今後そういった観点から分析も行いまして、最後の報告書にまとめていく予定でございます。ご説明が長くなりましたが、ここで参加ユーザーの方からご意見をいただきたいと思っております。板橋区の参加ユーザー代表委員様いかがでしょうか。

○（参加ユーザー代表 板橋区） よろしくお願いたします。スライドの意見はそのままですが、加えて、自宅でコードモンさんの「ホイシル」にも登録してみて、実際に操作してみたのですが、何点か改善していただくと良いかな、と思うところができましたので、お伝えさせていただきます。まず 1 つ目が、「板橋区 保育園」と検索すると、保活ワンストップのサイトの存在がやや薄いのかなと、目立ちにくいな、と感じました。板橋区に在住していれば、何となくホームページをみて何かあるな、と感じると思うのですが、転居してくる方や外国人の方が、保活ワンストップのサイトに気づくように、何か目立つ周知ができるようなものであればいいなと感じました。2 つ目が、民間保活サイトの「えんさがそっ♪」や「ホイシル」を見て感じたのですが、トップページやメニューの欄に入園申し込みのタブがあるといいなと思いました。保活ワンストップ対象園のページの下の方からしか、入園申し込みができなくて、保活ワンストップ対象外の園からは入園申し込みのページに飛べなかったのも、その辺は少し改善していただくとより使いやすいのかなと思いました。それと、3 つ目が、保活サイトで園見学から入園申し込みを完結できることは大変良い、と思ったのですが、結局区のホームページに飛んで、区のホームページからマイナポータルまで飛ぶのが、少々手間な形になってしまったので、もし保活サイトから一気に飛ぶのであれば、すぐにマイナポータルに飛んで、デジタル化された申請ができると、より良いと感じました。4 つ目が、保護者の負担軽減が目的なら、手続を Excel 様式のダウンロードではなく、入力フォームから直接入力できると、とってもありがたいと思います。小さい子がいると、紙を書いて写真を撮ってアップしたりすることなどが、ちょっと手間というか、時間がかかったり、例えばミルクをこぼされてしまうこともあると思うので、授乳しながらでも片手でスマホから申し込めるようなものがあると良いなと思ったので、できれば今後は Excel ではなく、WEB の入力フォームにさせていただいて、その辺の手間が省けると嬉しいなというのが、感想です。入園申し込みの部分だと、まだデジタル化というには弱いかなと思うのですが、情報収集や園見学の部分は、周りに薦めたいサイ

トになっているので、ぜひこのまま大きくしていただいて、保活をされている保護者の方々にもっと知っていただければなと思っております。長くなりましたが、以上です。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** どうもありがとうございました。今いくつかのご意見をいただきましたが、関連する民間保活サイトのコドモンさんから、何かコメントありますでしょうか。

○ **星加（株式会社コドモン）** はい、ありがとうございます。コドモン星加です。非常に参考になりました。ご指摘いただいたところが、もともと弊社のサービスとしても課題になっているところもございましたので、このあたり踏まえて、もともとのホイシルの機能としても拡充するところや、今回の保活ワンストップの機能として、より良くしていくというところで改善がしていければと思っております。ご意見いただき、ありがとうございました。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** ありがとうございます。あとは今出たご意見の中から関連して、板橋区さんに伺います。ホームページのわかりやすさとか、あとは入園手続き関係の改善点などについてご意見をいただきましたが、何かコメントを頂戴できますでしょうか？

○ **保泉 委員(板橋区子ども家庭部 保育運営課長)** はい。板橋区の保泉です。貴重なご意見いただきましてありがとうございます。ホームページですとか、広報については、全庁をあげて、いろいろ課題だと思っているところであります。いただいたご意見を踏まえまして、使い勝手のいいようなものを考えていきたいと思っております。どうもありがとうございました。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** ありがとうございます。体験していただいて、周りの方々にも勧めたいと言ってください、どうもありがとうございました。それでは、続いて足立区の参加ユーザー代表委員様、ご準備よろしいでしょうか？

○ **(参加ユーザー代表 足立区)** はい。よろしく申し上げます。意見は私もスライドに書かせていただいた通りですけれども、私が保活をしていた時は、保活ワンストップシステムは無く、今回初めて体験させていただきました。体験をしてみて、見学予約まで一つのサイトでスマートフォンから出来ること、いろんな園を同じように施設情報を確認することができ、気になった園に見学予約ができるというのはとても簡潔で負担が少ないのかなと感じました。私の時は電話で保育施設に見学予約をしていたのですが、これから参加園が増えると、今後保活をされる方にはとても便利になるのかなと感じました。私もこれから保活をする方には、この保活ワンストップサービスを伝えていけたらいいと思っています。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** はい、ありがとうございました。続きまして、調布市の参加ユーザー代表委員様より、体験した上でのご意見をいただいておりますので、代読で私の方からご紹介させていただきます。

まず、各園のページを見に行かずに一括で済むというのはとても便利だということでした。検索して、どこの園を見に行くか、夫とも情報共有してというのは、時間がかかるということです。また、民間保活サイトの園の写真の掲載について、その園のものではない写真が載っていると、園のイメージがちょっと違ってしまうかもしれない、ということで、実際の写真がもっとあれば良いとのご意見をいただきました。それと、園によって情報量にばらつきがあり、実施している保育内容やサービスがもしここに記載されていなかったとしたら、実施していないと保護者に思われてしまうのは、非常にもったいなくて残念というところで、ぜひ園の詳しい情報を登録していただくとありがたいとご意見いただきました。また、空き枠情報が歳児ごとの表になっているのが見やすいとコメントをいただきました。さらに、見学予約の時間帯を選ばなくてよく、電話が苦手な保護者が最近増えていると思うけれども、日程調整のやりとりが省けて予約枠から選べるのは非常に便利だというふうにご意見をいただいております。あとは改善点として、すぐに予約を確定できた方が嬉しいので、見学予約申請後にすぐに承認のメールが来ると良いといったご意見をいただいております。参加ユーザーの代表の方々からのプレゼンテーションは以上となっております。

質疑応答・意見交換

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** それでは、委員の皆様、事業者の皆様、何か参加ユーザー代表の方に質疑・ご意見があれば挙手の方をお願いいたします。参加ユーザー代表の皆様、貴重なご意見をいただきまして、どうもありがとうございました。引き続き東京都としましても、より利便性が高まるように広報周知をがんばってまいりたいと思いますので、よろしく願い致します。ありがとうございました。

次第4. 保育施設・自治体からの意見

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** 続きまして次第の4. 保育施設・自治体からの意見に移りたいと思います。

まず、参加保育施設を対象に中間アンケートを実施いたしましたのでその内容を共有させていただきますと思います。実施期間は令和6年12月16日(月)から令和7年1月10日(金)、

WEB アンケートにて保活ワンストッププロジェクトに参加する 126 園を対象に調査しました。このうち、回答いただいた 105 園を有効回答数として事務局で集計をしております。まず、105 園のうち、保活ワンストップシステムでの予約受付を1回以上行った 73 園に対し、システムでの予約受付は、電話と比較して便利になったと思うかと質問したところ、61%の園が電話に比べて便利になったと回答をいただきました。また、同じ園に、園の見学予約枠を設定したことで、保護者との日程調整の負荷が軽減されたと思うかと質問したところ、62%の施設が保護者との日程調整の負荷が軽減した、との回答をいただきました。なお、クロス集計で分析したところ、システムでの予約受付回数が多い園ほど、負担が軽減したと実感しているという傾向にございました。

次に、施設情報に関する項目になります。対象園すべてに対し、リリース前の初回登録後に施設情報の更新を行ったか質問しました。全園がサービスリリース前に施設情報の初回登録を実施していただいておりますので、その後の更新状況を聞いております。結果、約半数の 53 園が、情報更新を行っていました。右側のグラフに移りまして、この 53 園に対し、施設情報の更新作業に負担はあったか聞いたところ、83%の園は施設情報の更新作業を負担には感じていないとの回答をいただいております。最後に、自由記述方式の設問として、システムを使うメリットとして感じたことと、システムについての課題や改善要望について質問しました。まず、左側のメリットにつきましては、カテゴリーに分類すると1番多かったのが、電話対応の負担軽減に関するメリット 30 件ということで、電話の場合は予約時間を決めるのに時間かかる場合があるが、カレンダーで選べるのが良いといったご意見をいただきました。また、2点目にスケジュール管理の改善ということが挙げられており、事前に保護者に予定日を周知できるため利用者が都合に合わせて選択しやすいといった意見をいただきました。また、3点目としてシステム機能の利便性についてのご意見で、毎日開く保育 ICT の中に、保活ワンストップのアイコンがあると見やすく開きやすいといったご意見いただきました。4点目に保護者側の利便性の向上 17 件ということで保護者が夜間などの隙間時間に申し込めて良いと思ったというようなご意見いただいております。右側に移りまして、システムについての課題や改善要望になりますけれども、こちらもカテゴリー別に申し上げますと、システムの機能や使い勝手については見学後の感想などアンケート機能があると良いですとか、見学受付の締め切りを直前までではなくて、2～3営業日前などに設定できると良い、といった声がございました。また、運用については、予約枠の登録については年度が変わるタイミングは3ヶ月先ではなく、直前までなどに柔軟にできたら良いといったご意見ございました。さらに、システムの認知度、周知について、システム外予約の電話が入った際に、保活ワンストップサービスの予約をお勧めしたところ、知らないという声もあったので、本サービスの周知拡大を期待しますといったお声もいただいております。ありがとうございます。こういったご意見を踏まえまして、保育施設の委員の方からご意見をここでいただければというふうに思っております。アンケートにもご回答をいただいておりますが、保育施設代表委員の先生方から一言ずつご意見をいただきたいと思っております。まず板橋区立かないくぼ保育園の諏訪委員いかがでしょうか。

○ 諏訪 委員(板橋区立かないくぼ保育園園長) はい。諏訪です。聞こえておりますでしょうか。よろしくお願いいたします。板橋区でシステムを使うメリットとしまして、園長副園長が不在時においてもいつでも園見学の申し込みができ、園側もメールで確認できるというのがとても良かったと思います。申し込みやキャンセルの電話の対応も減りまして、業務の削減につながっていると感じております。また、保育の ICT を都度開かなくてもプッシュ通知やメール配信などで申し込みがあることがわかるというのがとても良かったなというふうに思います。また反面、システムについての課題や改善点なのですが、まだまだ電話の申し込みもありまして、認知度の低さが今後の課題とっております。また、多言語の需要というところで外国人の利用者の方も多いため、英語や中国語、韓国語で利用が出来て、保育園の方では外国人の方へ日本語での発信や確認ができるっていうのが今後できるというのいいなと思っております。民間保活サイトによっては、参加者の人数が園の方に反映されていないということもあったようなので、その辺も改善をしていただくと助かるなと思います。また、保護者の方のキャンセル時にも受付をした時と同じように保育施設にプッシュ通知やメール配信があるとありがたいなということがありますので、今後の改善してほしい点として挙げさせていただきたいと思っております。以上です。

○ 竹内 こども DX 推進担当課長 ありがとうございます。続きまして、足立区立あやせ保育園副園長伊藤様コメントいただけますでしょうか。

○ 伊藤 委員(足立区立あやせ保育園副園長) はい。足立区立あやせ保育園の副園長の伊藤と申します。よろしくお願いいたします。板橋区さんと重複してしまうところも多々あるとは思いますが、実際、私がこのシステムを始めてからの体感としては、年間 100 件近い電話対応になります。かかる時間がとても多かったので、そこが削減できたことが一番の大きなメリットだなと感じています。電話対応する職員が主に私になるのですが、不在時でもシステムで見学予約が入るので、その点に関してはメリットかなと思っています。あとは同じく予約キャンセルの時も予約が入った時と同じようにプッシュ通知があると見落としがなく、すぐに対応ができるので、そのような形でシステムの方に反映していただくとありがたいかなと思います。あとはやはりまだ保活ワンストップサービスが始まったばかりなので、まだまだ浸透されていない部分も多く、11 月以降もまだ電話の予約の方が多いためは事実でもあります。なので、足立区という自治体としても、周知の発信が増えて、来年度以降の保活をされる方に対して保活ワンストップサービスの情報が届くというのいいなと思っています。以上です。

○ 竹内 こども DX 推進担当課長 ありがとうございます。続きまして調布市立富士見保育園園長の佐合井委員いかがでしょうか。

○ **佐合并 委員(調布市立富士見保育園園長)** はい、富士見保育園の佐合并です。よろしくお願ひします。調布市はちょうど 10 月 23 日に一次募集の締め切りがあったので、その後の運用ということで、若干件数が少なくて、システム上の予約に限って言うと 1 件しかなかったのですが、やっぱり一番メリットとして感じるのは他の自治体さんとも同じで、電話を受けないで済むというところは大変、時間短縮になるなど感じています。富士見保育園の場合、電話で受け付けた時に名簿に手書きで記入をして、連絡先やお名前を聞き取っていたのですが、そのときの聞き間違いも、こちらのシステムを使うとなくなってくるので、その辺はとてもありがたいなと思っています。今後見学が多くなって申し込みが多くなっていくほど、多分そういう部分がすごく便利だというふうになるのかなと予想しています。あと、保護者からの見学時の質問も事前に記入していただける項目もあるので、その部分で事前にやり取りができるので助かっています。あとはやっぱり電話での予約がシステム 1 件に対して多分 3 件ぐらいありました。まだこちらの保活ワンストップの説明をしても存じ上げていない方がほとんどだったので、今後これから周知が広がっていくことに期待しながら、進めていけたらいいなと思っています。ありがとうございます。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** ありがとうございます。続きまして、自治体から、運用してみてものご意見をいただければと思っております。まず板橋区の保泉委員から頂戴してよろしいでしょうか。

○ **保泉 委員(板橋区子ども家庭部 保育運営課長)** はい。板橋区の保泉です。よろしくお願ひします。それではスライドに基づきまして、意見を申し上げます。まずメリットですけれども、利便性の向上と施設のアピールという点があります。保護者にはデジタルネイティブという世代の方も多くなっておりまして、デジタルを使いこなしておられます。一方で保育園はアナログのイメージがあります。保活ワンストップへの参画が、保育園がデジタル化に対応しているということを入園前にアピールできるいい機会となります。次に電話対応ですけれども、コミュニケーションツールが多様化している中で、保護者にとっては必ずしも優先順位が高くありません。保護者の使いやすいツールの導入につながるとともに、電話にかける時間がなくなるのはメリットであると考えています。聞き間違いもなくなりますし、文字で必要な情報を収集することができますので、いつでも確認ができます。メールへの通知についても、複数の確認手段ができるということで、チェックも厚くなることが考えられます。私たちの意見を踏まえていただきまして、改良を加えていただいたことで、使いやすいシステムになってきたなと思います。改めてお礼を申し上げます。一方で改善点についても申し上げます。これまで申し上げてきた通り、とてもいいシステムですけれども、引き続き周知をお願いするとともに、区でも周知の方に努めてまいりたいと思っています。使ってみてわかることがたくさんあります。これまでと同

様に、自治体ですとか、保育施設の意見を聞いていただきましてシステムのバージョンアップをお願いいたします。その際にはお知らせもお願いできれば幸いです。最後に保護者が入力する予約情報についてですけれども、必要な入力情報を加えていただくことで、保護者にも丁寧な対応ができるようになってきますし、統計上の処理も可能となります。システムが改善されていくことで、保護者の利便性の向上と保育士の負担軽減の両立が容易になると考えております。引き続きどうぞよろしくお願い致します。以上です。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** はい、ありがとうございました。では続きまして、足立区青野係長いかがでしょうか。

○ **青野 委員(足立区子ども家庭部保育・入園課入園第三係 係長)** はい、今まで保育園の園見学に関しましては、各自お電話で保育施設にということで保育施設任せになっていました。今回、この保活ワンストップということで、システムを導入することによりまして、保護者に対して入所前に必要なことについてアプローチができるようになったという点は非常に良かったなというふうに思っております。今後ですけれども、見学数とか、需要の状態とかを見ることによりまして、保育園の見学の需要だけではなくてですね、保育園のそもそもの需要等も、予測できるようになればいいなというふうに思っております。足立区からは以上です。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** どうもありがとうございました。続いて、調布市の米内山委員、ご意見いただけますでしょうか。

○ **米内山 委員(調布市子ども生活部 保育課長)** はい、米内山でございます。保活ワンストップサービスの円滑な運営にご尽力賜りまして誠にありがとうございます。重複ではありませんが、先ほど富士見保育園長から話ありましたけれども、このサービスが開始する前に一時申し込みが多い令和7年 4 月入園の一時募集の期間も終了しておりましたので、二次募集や毎月の入園希望者が本サービスの主な利用対象となっております。その中で保育課の窓口で個別に相談に来られた保護者の方ですとか、電話での相談に対して、保活ワンストップサービスの説明ですとか、利便性等、積極的に周知してまいりました。施設見学の予約件数については、まだそこまで多くはありませんので、今後多くなってくることを期待しております。調布市としましては、本システムを利用することによるメリットとして、民間保活サイトから各自治体の電子申請ページに遷移できる点が挙げられます。今後は、本システムの利用者の増加とともに、電子申請の普及率が高まることを期待しております。また、保育施設側のメリットとしては、調布市園長も先ほど仰っていましたが、負担軽減のほかに、予約の際に電話でのやり取りがなくなることや、保護者に聞き取るべき情報があらかじめ入ってくることで、間違いなくスムーズに受付ができることが挙げられます。さらに、保護者からの園への問い合わせの減少など、このシステムが普及すれば、導入効果をさらに感じるができると思っております。改善点と

しましては、各施設の空き状況、空き枠の情報の更新ですが、公開する日時が設定できると、より便利かなと思っています。これは調布市においては、毎月1日に翌月分の各施設の入園の募集の数を公表しておりますけれども、年末年始や土日祝日などの場合については情報の更新が市のホームページより遅くなってしまうということがあるためです。今後、保育施設や自治体の改善要望などや意見などを汲み取っていただき、より良いサービスになっていければと思います。私からは以上でございます。よろしくお願いいたします。

○ 竹内 こども DX 推進担当課長 米内山委員、どうもありがとうございました。皆様から本日いただいた貴重なご意見をもとに、来年度また改善をしていきたいと思っております。

質疑応答・意見交換

○ 竹内 こども DX 推進担当課長 それでは、ここまでの内容につきまして、質疑応答・意見交換の時間を設けたいと思います。ご発言いただける方は、挙手をお願いいたします。土橋委員をお願いいたします。

○ 土橋 委員(一般社団法人 東京都民間保育協会 副事務局長) はい、本日はありがとうございます。色々な取組も伺いまして、本当に実行に向かっているなということで感謝申し上げます。東京都民間保育協会の施設団体として出させていただいております、土橋と申します。さて、今までのことでいくつかですね、ちょうど団体としても来年度に向けて東京都内の会員の方に色々な情報を周知していく時期なので、確認も含めてちょっといくつかご質問させていただきたいのですが、令和7年度について、今年度は3区市という形で 120 数施設ということで進んできたものを、来年度拡大をすると思うのですが、およそ今の見込みというか、目標というか、確定をされている部分もあるのかもしれませんがどれくらいの区市町村で合計何区市ぐらい、来年度の施行を行っていくのかというのが1点。あと、これはおそらく施設側から質問来るだろうなというところが、ある程度保育所を絞りきったところで見学を申し込みたいという時に、一度保活ワンストップサービス、「えんさがそっ♪」とか「ホイシル」の方に戻って、そこで登録をして園見学という形を今想定はされていると思うのですが、園見学について今後他の入口、もう少しこうなんていうのかな、ハードル飛び越えたところで、例えば園のホームページの中にリンクを貼ると、その保活のページに飛ぶようなサービスができるのかとか。そういうことについての検討はどうなっているのかというのはちょっと伺いたいなところなんです。もう一つが、今回各区市町村、施設を広げていくという形で今行っていると思うのですが、私自身もそうなのですが、その中で説明をしてほしい、説明会を開いてほしいとか、そういう要望が非常に多くなっているところです。これは多分、東京都のご担当の方

の皆さんのところにも、うちの自治体の園長会で解説をしてくれないかというお話が来ているのかなと思うのですが、その辺の対応を今後どうしていくかを計画されているのかというのが伺いたいところです。また、実際に保育園としてもデモサイトみたいなものをいじってみないと、この間、園に来てご説明をしていただいた時のその園見学がどういう形で申し込みが来て、どういう形で登録をしてとかっていうところを具体的に、本物ではなくてデモサイトのところで触れると一番わかりやすいのかなと思うので、もし可能であればそういうものの設定もお願いができればなというふうに思っています。あと、これは意見なのですが、最近「code サーチ」とかいろんな情報、これの元にしたというところの基本情報を見るようにしていると、やっぱり自分の園、私もいち保育園の園長なのですが、情報がアップデートされていないな、という反省をしました。ここのところはかなりの広報を行って、情報の更新については動かなきゃいけないかなというふうに思っているところです。また、全国的に、本当に全体に広げていく中で、この東京都民間保育協会、1,200園以上が加盟している団体ですので、その中でご協力ができるところがあるかと思うのですけれども、来年度に向けて私たちにこの取り組みの中で期待していること、こういうことを頼みたいとかお願いしたいということがあれば、お伝えいただければと思います。もしかしたらちょっとね、今回このお話をするのは早いかなということもあるのですが、実際に来年度に向けての動きがもうすでに団体としては始まっているので、恐れ入りますが、決まっているところ等々教えていただければと思います。よろしく願いいたします。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** はい、ありがとうございます。それでは 6 点ほどご意見いただいたかと思しますので、お答えさせていただきたいと思います。

まず来年度の規模についてですけれども、まだ確定の数字は無く、自治体から意向を伺っている段階になりまして、予算が確定したら正式に決定ということになります。規模感としては、自治体数は 19 ぐらいの手上げをいただいております。参加施設数としては、約 1,000 を超えるぐらいのご希望をいただいております。今後、都の予算が 3 月末に議会で成立しましたら、正式決定します。参加園が多ければ多いほど利便性が高まっていくと思っておりますので、広がっていくよう準備をしていきたいと思っております。それから 2 点目の、見学予約等について、例えばその園のホームページから直接できるようになるなどの検討状況はどうかというご質問でございますが、今のところ各園のホームページから直接というのは具体的に考えてはいないところではあります。「ホイシル」とか「えんさがそっ♪」のバナーのリンクを貼っていただいたり、あとは都で構築中の保活ワンストップのポータルサイトについても、園のページにリンクを貼っていただいたりする方法。また、PR ロゴなども使って周知を広げていくような形で、保護者の方の入口を増やしていきたいなというふうに思っているところでございます。3 点目について、保育施設の職員の方々に説明をしてほしいというようなお声があるというご意見いただきました。確かに今回ですね、令和 7 年度の自治体を募集した際には、自治体さんの方から、園に直

接説明をしてくれないかというようなご意見もいただいたところでございます。今後は、自治体と東京都でしっかり連携して、自治体さんにしっかり軸になっていただいて、保育施設の取りまとめていただく。また、運用ルールなども自治体によってどういうやり方が良いか、いろいろなご意見があると、今回の中間アンケートでもわかりましたので、都の方で全保育施設に対して直接というよりは、自治体さんとしっかり連携して、自治体を軸にご説明ができるように、もちろん都も現場に出向いて、力を入れていきたいなというふうに考えているところでございます。あと4点目のデモサイトについては別途ご説明いたします。続いて5点目の「ここ de サーチ」の情報がアップデートが不十分というところについては、私どもも、保活情報連携基盤に情報をインポートする際に、アップデートが進んでいないな、ということを実感したところでございます。都の中での所管が福祉局の方になるので、我々だけで何か改善っていうのが難しいところではございますが、ここ de サーチを運用している国の方にも、現場の状況ですとか意見は伝えていって、なるべく保護者の方に最新の情報が届くように、皆さんと協力して、取り組んでいきたいなと思うところでございます。6点目、来年度に向けて、東京都民間保育協会様に期待することではございますが、まず私の一番思うところはやっぱり広報・周知というところで、都民の方もさることながら、保育施設の方々にとってはなかなかそのシステムを使うっていうところに不慣れな方もいらっしゃるし、抵抗感もあるっていうようなお声をいただいておりますので、その点について保育の団体様と協力して、保育施設の職員の方々に良さを知っていただくであるとか、実際の使い勝手などについて、周知していけるように進めさせていただけると大変ありがたいなと思っております。はい、今、私の方で答えてしまいましたが、事務局の方から補足の説明をお願いします。

○ **事務局** 東京都のデジタルサービス局の木村と申します。今いただいた4点目、デモサイトにつきましては、保育施設向けの施設情報見学予約システムのデモサイトのご用意をしております。今もまだその環境についてはログインしてアクセスしていただけるような状況になっております。当然、デモのサイトになるので、ちょっと一部機能的に使えないものがあったりとかっていうのはありますが、十分に保育施設の方がご覧いただけるかなとは思っていますので、今もまだアクセス可能っていうところは確認しておりますので、そちらも合わせてご確認いただくと幸いです。よろしくお願い致します。以上です。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** はい、ありがとうございます。土橋委員、よろしかったでしょうか。

○ **土橋 委員(一般社団法人 東京都民間保育協会 副事務局長)** はい、ありがとうございます。まず、今のところ「ホイシル」とか「えんさがそっ♪」のリンクをホームページ等々で周知していいということであれば、それは進めていきたいなというふうに思います。参加園について

はですね。あと、デモサイトの方はおそらく自治体の方に ID パスワードをお渡しして、自治体の方で運用するような形になっているということでよろしいですかね？であれば、あの区市町村に問い合わせその説明を受けるといふ形、あるいは保育施設の前でそれを稼働してこんな感じですよというご説明をいただくということで考えていきたいと思っております。また、団体としての広報・周知についても、実際にその機会を広報誌等々でもう始めているところなのですが、今日いただいたような情報をしっかりと保育施設、あと一部認定こども園とか小規模とかも加入しておりますので、そちらの方にお伝えをしていきたいと思っております。どうもありがとうございました。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** ありがとうございました。他の委員の方でご発言いただける方いらっしゃいましたら挙手をお願いいたします。とくに挙手がないようですので、こちらから委員の方を指名させていただいてよろしいでしょうか。一言ずつお願いできればと思います。まずこども DX 推進協会の小池理事コメントをいただけますでしょうか。

○ **小池 委員(一般社団法人こども DX 推進協会 代表理事)** はい、ありがとうございます。大変大きな成果が今回あったということは、すごく未来につながるお話なのかなというふうに思っております。保護者目線で見ると、今回、スコープに入ってなかったと思いますけれども、入所申請のページに移行してから、そこからオンラインでどこまで完結できるかということも、保護者目線での利便性の高さということにつながるかと思っておりますので、そのあたりの効果検証等も見据えながら、次に進めていければなというふうに思っております。はい、ありがとうございます。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** はい、ありがとうございます。続いて社会福祉協議会保育部会の小林委員コメント頂戴いただけますでしょうか？

○ **小林 委員(社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 保育部会 常任委員)** はい、小林と申します。ありがとうございます。あくまで感想になりますが、効果測定やアンケート結果を見ても、利用者の方にとって大変良かったという印象を受けました。それと、まだ施行したばかりというところだと思いますが、今後、私も東社協の常任に参加していく中で、都内で 1,500 園ほどの加盟がありますので、そういった中で周知をしていくと、また、より一層変わってくるような印象を受けました。また、当園では日にちや人数を限定していることから、まだ保活ワンストップサービスでの見学は受け付けていませんが、今後は利用を広げていきたいと感じました。ありがとうございました。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** どうもありがとうございます。続いて、子ども家庭庁の豊島様コメントいただけますでしょうか？

○ **豊島 委員(こども家庭庁成育局保育政策課 専門官)** ありがとうございます。こども家庭庁成育局保育政策課長の栗原の代理で出席をさせていただきました、豊島と申します。本日はありがとうございました。国においても令和 8 年度からの保活ワンストップを目指して、現在、保活情報連携基盤の構築に向けた取組を進めているところでございます。本日は効果測定の結果をお伺いして、KPI の測定結果が高評価であることから、保護者の満足度が非常に高いことが伺えました。ニーズが高いということがはっきりとわかりましたので、引き続き東京都さんと連携をしながら、保活ワンストップの実現を目指したいと改めて思ったところです。また、特に印象に残っているのは、電話受付がなくなったことで、保育施設側のやり取りにかかる時間が大幅に削減されていることや、担当者の在・不在にかかわらず、園見学の申し込みが可能なことなど、とても効率的になっているなと思いました。一方で、もう少し認知度を上げる必要があるということも、お話の中で伺いましたので、今後保活ワンストップを進めていく中で、周知広報が重要だということにも気づかせていただきました。保活ワンストップの目的である、保護者と保育施設と自治体にとっての負担軽減につながっていることがよくわかりましたので、国としても、令和 8 年度からの保活ワンストップの全国展開に向けて、先ほども申し上げましたが、東京都さんとしっかり連携をしながら、進めてまいりたいと思います。本日はありがとうございました。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** ありがとうございます。続きまして、内閣官房デジタル行財政改革事務局よりオブザーバーで参加いただいております飯嶋様、ご意見いただけますでしょうか。

○ **飯嶋 オブザーバー(内閣官房デジタル行財政改革会議事務局 参事官)** はい、内閣官房参事官の飯嶋です。ご説明ありがとうございました。効果検証もしっかり丁寧にやっていただきまして、利用者の方々、また保育施設の方々、自治体の方にとってもメリットのある取り組みだったということをしっかり示していただけた、というふうに考えております。これも関係者の皆様が、使いやすい良い仕組み、良いシステムというのを協力して作り上げていただいたためと考えております。改めて感謝申し上げます。今後はお話がありましたように認知度の向上ですとか、様々ないただいた要望の改善について、引き続き取り組んでいただくことを期待しております。ありがとうございました。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** はい、ありがとうございます。それでは最後にいただいたご意見を受けまして、GovTech 東京の土田委員、東京都の福田委員より一言ずつお願い

いたします。

○ **土田 委員(一般財団法人 GovTech 東京 デジタル戦略本部 デジタル戦略本部長)**

はい、GovTech 東京デジタル戦略本部長の土田でございます。本日はお忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございます。昨年急ピッチで開発し、10月末にリリースした保活ワンストップシステムですが、もうまもなく3か月が経とうとしているところです。これまで皆様のご協力をいただき、大きなトラブルもなく運営できていることは良かったと考えています。改めて皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

本日の東京都からの報告にもありましたが、これまでの効果測定からも利用者の多くの方にご満足いただき、所要時間も半減しているとのことでした。保護者の方、保育施設、自治体の皆様からも、便利になった、負担が減ったという声をいただけたことは良かったと感じています。特に今日の中で印象的だったのは、ユーザーの方から「周りにも伝えたい」というお話が2回ほどあったことです。そのようなことを聞くと、このプロジェクトの方向性は間違っていなかったと改めて確認でき、嬉しく思いました。

今の時代、口コミの影響は大きいですから、この口コミがどんどん広がり、認知度につながると良いと思います。一方で、その認知度や使い勝手について、まだまだ課題があることも今回改めて確認できました。特にシステム開発を担ってきた GovTech 東京としても、システムの操作性やわかりやすさ、あるいはメールの関連などについて、多くのご意見をいただきました。これらの意見は大変参考になるものでした。

こういった課題を解決すべく、皆様とも引き続きご相談いただきながら検証を重ね、来年度に向けて、保活ワンストップシステムの機能を一層磨いてまいりたいと思います。本日はありがとうございました。

○ **福田 委員(東京都デジタルサービス局 こども DX 推進担当部長)**

はい、東京都デジタルサービス局の福田でございます。本日は皆様、事業運営検討会にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。重ねて御礼申し上げます。昨年10月31日にシステムを稼働いたしましたして、この間順調に進んできたと感じているところでございます。おかげさまで、リリース後も様々な反響がございました。テレビや新聞にも取り上げていただき、またデジタル化による保活時間の短縮、都民の手続き時間、保育施設の方々の手続き時間を増やす取り組みの代表例として、知事への各種インタビューや都庁内の会議でも取り上げていただいております。都庁内外でも非常に期待される取り組みとなっております。

本日も皆様から、アンケートでも、様々なご意見をいただきました。いただいたご意見を踏まえまして、来年度さらに保護者の方々、保育施設の方々、そして自治体の方々の利便性が高まるように、しっかりと準備を進めていきたいと考えております。また、本日いただいた意見の中でも、システム化によってデータの利活用や別の視点での活用の幅が広がるのではないかと感じております。さらに、実際の申請にどのようにつなげていくのか、利便性をどう高める

いくのかという全体最適も今後の課題となるのではないかと考えております。

また、土橋様から情報の更新についてのお話もいただきました。私も過去の経験から、今はインターネットが普及しているため、ネットに出ていない情報は存在しないのと同じだと言われたことがあります。そういったことも踏まえまして、保育施設の皆様には情報の充実にも努めていただければと思います。来年度は、参加自治体や保育施設が拡大していきますので、認知度の向上も含めて、また我々も努力していきたいと考えております。引き続き、皆様のご協力を期待いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

次第5.閉会

○ 竹内 **こども DX 推進担当課長** はい。それでは以上で意見交換を終了といたします。

本日の議事はすべて終了となりました。長時間にわたりご参加くださり、また貴重なご意見をありがとうございました。これもちまして、保活ワンストッププロジェクト第3回事業運営検討会を閉会いたします。なお、本日の議事は事務局にて内容の確認をさせていただいた後、録画の限定配信 URL とともに、皆様にメールでお送りする予定です。確認いただき、御了承をいただいた上で公開させていただきます。ご連絡は以上になります。本日はありがとうございました。また、次回が最後の検討会となります。内容といたしましては、事務局より本プロジェクトの報告書案をお示しし、ご意見をいただく予定でございます。開催時期が近づきましたらご連絡をいたしますので、引き続きどうぞよろしくお願い致します。事務連絡は以上になります。オンラインの方は退室ボタンで順次ご退室ください。本日はどうもありがとうございました。